

日本人の名前(ファイルNo.22)

今回は肩の凝らない内容で、最近の日本人の名前について考えてみます。

日本人には、外国人が聞くと変な名前の人があります。逆に、日本人が聞くと変な外国人の名もあります。お互いさまでしょうが、子どもを国際人に育てたいなら、外国人に違和感のない名前を選ぶべきでしょう。

◎「子」は敬称

清子さんという名の女性は高校生の頃、教師から「子」を付けるなんて畏れ多い」と言われました。昔はたしかに「子」は高貴な女性にしか使われず、庶民は女性でもクマヤトラという名前がありました。強く育つような強い動物の名を借りたのです。「子」は古代から現在まで、日本人の名前によく使われてきた接尾辞です。古代では男性にも使われました(蘇我馬子、小野妹子など)。時代や場合によっては名の一部ではなく女性への敬称ともされたのです。

昭和の時代になっても「子」がつく名前がトップの位置を占めていたのですが、最近では少なくなりました。男女とも洒落ていて、外国人かと思うような

名前が多くなりました。日本人の名前が多様になったため、外国人にとっては変な名前も生まれました。

外国人にとつて、大雅(タイガ)は絶対に「虎」。麻耶(マヤ)はマヤ民族だし、真美(マミ)は母美紀(ミキ)はミッキーマウス。美沙や美佐(ミサ)はキリスト教国では特殊な意味を持つ儀式。

◎毛沢東と浅田真央

フィギュアスケートの浅田真央さん、女優の井上真央さんの名は「マオ」。この名前、中国人なら毛沢東を連想します。毛沢東は、日本読みならケザフヒガシでなくモウタクトウ、中国語の発音ではマオ・ツォートンなのです。中国語圏では、ハコ(コウジ)は会社で麻衣(マイ)は喪服です。代表的な女性名・花子(ハナコ)も路上生活者という意味。ちなみにタイ語でマオは「酔っぱらい」、マイは「いいえ」。

英語圏で別の連想を起こしがちな名前を列記します。

- 薫、馨(カオル) 牛の糞
- 秀、修(シユウ) 靴
- 翔(シヨウ) 見せ物
- 紀子、典子(ノリコ) ひげそり器メーカー
- 陸(リク) 隠語で男性器

雄大(ユウダイ) ユー・ダイ、つまり「死んでしまえ」

次はフランス語圏。

菜奈(ナナ) いまいましい女

沙世(サヨ) 男たらし

菜(シオリ) 寝小便

隆(タカシ) あなたの糞

理恵(リエ) 笑え

以下、雑多に紹介します。

ドイツ語でコトミ(夢美)は「私の糞」、スペイン語でトオル(徹)は闘牛、サアヤ(紗彩)は老人が着る下着、インドネシア語でススム(進)は「あなたの乳房」、韓国語アヤ(綾、亜矢)は「痛い」、ビルマ語ではミホ(美穂)は問題児。

◎男女逆転

日本では男性の名前でも外国だと女性名となることがあります。また、その逆もあります。

恵人(ケイト)は英語圏ではKATEで女性名、日本で男性に多い玲於奈(レオナ)は外国では女性名です。フランス語圏では美鈴(ミレイ)は男性です。アンリ(杏里)はHENRIで男性になります。日本の洋菓子ブランドであるアンリ・シャルパンティエを思い起こしてください。リオ(李緒、莉央)も外国では男性名。

先ほど「牛の糞」と書いた薫は、男女両方に使える名前です。ルイも日本では男女両方に使われます(壘、瑠依など)が、外国では男性、レオ(玲雄、伶央など)も同様に外国では男性。

体のおいしい水

知床らうす 海洋深層水



優秀味覚賞 受賞

1本 約11.3ℓ

1,400円(税抜)

サーバーメンテレンタル費 1,000円(税抜)/月

※定期宅配で3本以上からの宅配となります。

健康ライフ

脱常識的入浴② シャンプーの頻度



顔、頭、手は普段、外部にさらしているため鍛えられ丈夫なはず。汚れやすくもありません。洗ってよいはずなのに、手で丁寧に洗います。逆に、普段は衣服で保護されデリケートなはずの部分はタオルでこすりまわす。奇妙なことです。常識的入浴法は再考の余地があります。

前回とりあげた「タモリ式入浴法」ではシャンプーも使いません。それは嫌という方は、シャンプーの頻度を少なくしてはどうでしょう。また、シャンプーは水で薄め、毛髪ではなく頭皮を洗うようにします。脂は毛髪を保護してくれます。毛髪は汚れだけ落ちればよく、脂は残すべきなのです。しかし、それは困難です。シャンプーも不要なのかもしれません。

★揚げナスのおひたし★

〈材料〉ナス3個、大葉1枚、油、めんつゆ、糸かつお

- ①ナスを半分に割り、水につけてあくぬき20分。
 - ②ザルで水切り、キッチンペーパーでふく。
 - ③油でナスを素揚げし、めんつゆにひたしておく。
- ※いただく時に糸かつお、みじん切り大葉をのせる。



「わが家の自慢料理」にふるってご応募くださるよう、お願いします。採用された方には図書券をプレゼントします。

わが家の自慢料理

〈福井市 稲郷典子様〉